

第8回青の國若山牧水短歌大会 審査結果

＜応募状況＞

部 門	応募数
一般の部（自由題）	507首
一般の部（題 詠）	468首
小学生の部	494首
中学生の部	1,112首
高校生の部	1,808首
計	4,389首

＜青の國短歌大賞＞

青空にひとひらの雲消えること流れることから許されており
永野 千尋 大阪府堺市

＜一般の部 自由題＞

○最優秀賞

白鳥が教えてくれた哀しみをそっと浮かべる独りの湯舟
犬井 楡 東京都多摩市

○優秀賞

この秋に輝く赤を出すために若葉は青い光を溜める
園部 淳 愛媛県松山市
めの字して寝たりし猫のつと伸びてくるり尾を巻きもの字で座る
河田 琴栄 静岡県浜松市

○優良賞

ゆりいすの赤子のきげんいいうちにラーメンすする若きふた親
黒木 直行 宮崎県日向市
サッカーの朝練終えて子供らの列はしづかに献血を待つ
貝田 ひでを 熊本県八代市
氷上に昼に美し「羽生」「羽生」羽持ち翔くる日本の泰斗
大渡 キミコ 大分県大分市

○佳作

エンジンを止めて大きな箱になる赤信号の手前でバスは
車椅子のタイヤはさくら色となる散りゆく桜の木の下通れば
春風がホームに列車を連れて来て日向の^{ひなた}にほひの君のふるさと
よく見れば冷蔵庫ドアの牧水よ私の方がおばさんじゃん！
「疲れた」という兄「たー」と真似をして幼兄弟アイス食べおり
若き日に吾トリアージ学びにき戦傷病の教育受けて
肌寄せて兄弟のよに休む牛会話するよな二度噛みをして
買物の妻のリュックは福袋安き品物つぎつぎと出る
国連のここぞの時の役立たず救えた命あまた見過ごす
公園のせせらぎ^{ぬく}温むを確かめて母は裸足の児を水に入る
娑婆の声聞きし疲れに補聴器は夜のしじまを机上に憩う
牧水が泳いだ川のつめたさを孫らよろこび帰りがたらず
尾鈴山の作文ほめて担任は教へくれたり牧水の歌
老いたれば不自由なこと多かりき不自由の中の自由と遊ぶ
ボケてきた祖父は私を見て呼んだよく来てくれたと亡き母の名を
ネギにニラ、シソに三葉と畑から妻に届ける^{たやす}容易い御用
わたし似と思ひし娘トントトン夫のリズムに階段降り来
文字盤をひと回りする秒針が一瞬光る真夏の一秒
出る事の多きを佛けにお詫びして更生保護の理事会へ行く
^{から}辛いとは辛いとも読むそりゃそうだ棒一本足りぬ^{さち}幸の出来損ない

杉山 太郎	神奈川県横浜市
中原 伸二	山口県光市
大江 美典	兵庫県西脇市
松下 礼実	宮崎県門川町
池田 慶子	宮崎県日向市
新地 浩一	佐賀県佐賀市
黒木 金喜	宮崎県日向市
笠原 俊夫	福岡県北九州市
宮城 六郷	東京都足立区
上田 康彦	千葉県四街道市
岩切 軍典	宮崎県宮崎市
清 宏子	宮崎県宮崎市
大賀 康男	愛媛県新居浜市
金子 幸男	北海道岩見沢市
宮武 里郁	大阪府大阪市
水永 正継	宮崎県門川町
田中 英子	宮崎県宮崎市
清水 良郎	愛知県名古屋市
横山 鶴子	宮崎県日向市
赤松 菊夫	福岡県北九州市

<一般の部 題詠「年」>

○最優秀賞

ビンボくさっと二人で笑った松林図この絵がわかるよ年をとったね	中村 哲	東京都小金井市
--------------------------------	------	---------

○優秀賞

背の高き六年生の後を行く黄帽^{きぼう}の児^こらはひなどりのごと
見上げればただただ広い空があり重ねた年がふと軽くなる

井田	あさみ	滋賀県東近江市
古賀	由美子	佐賀県唐津市

○優良賞

久々に再会をしてうかつにも年齢尋ね合うクラス会
半年を同じ歳にてありし妻今日恙なく姉女房なり
おるがんがふうふうなれば一年生あたまをたてにきざんでうたう

貝田	ひでを	熊本県八代市
岩切	軍典	宮崎県宮崎市
永野	千尋	大阪府堺市

○佳作

年寄りの我が総理になりし夢目覚めて笑い日記に書き込む
年老いた鯉幟立つ山里に小さきながら新しき見ゆ
片づけた部屋には思い出足りなくて君の一昨年の年賀状を飾る
百歳の母が四人の子を集め年玉くるる五万円づつ
九グラムのU S Bで事足れり四十年の私の仕事
妻の絵も家具のひとつに数えよう三十年も壁に飾れば
人波がモーゼの割った海となる 白杖一つ頼む少年
千年も万年もその容色の衰えぬ月霊薬持つや
パソコンの手ほどき我が子と同年の若きに受けつつ職繋ぎたり
海女漁の無事へ新年の磯びらき写経の小石を僧は沈めたり
年の豆まくわがそばに老犬は寄り来て問ふがごとき顔せり
何年も昔に遭ひし震災が母には昨日の出来事でした
牧水^{くじゅうねん}が去り九十年今どこを旅してますか新酒冷えてます
網戸^{そら}越し宙に輝く赤色の錆びつきし星の年を想へり
不器用に逆上がりできた五年生最後の不器用ゴルフを習ふ
年甲斐もなく「ほら、ほら！」と空を指す流星群をあなたと見れば
年の瀬に押し入れを出し外套は我れを抱きて冬に飛び込む

山田	光風	京都府京都市
宮田	隆雄	宮崎県日南市
ゴン		長野県高山村
武藤	昭彦	東京都中野区
坂本	一信	宮崎県宮崎市
桜田	一夫	兵庫県西宮市
樋口	盛一	東京都中野区
松本	進	山口県光市
鈴木	みち子	宮崎県綾町
廣岡	光行	三重県志摩市
阿久津	恵美	東京都大田区
大坪	三紗子	宮崎県国富町
片伯部	りつ子	宮崎県延岡市
國井	陽介	神奈川県横浜市
天王谷	一	徳島県小松島市
猫田	馨	青森県蓬田村
川平	陽子	宮崎県宮崎市

「あくがれ」を高校三年間の指針にと担任は語りぬ娘の入学式で
 子のくれし万年筆に心のせゆっくりゆくりと今日を綴る夜
 官民で虚偽隠蔽の垣間見ゆ明治百五十年この国は今

中村 葉月
 池袋 貞子
 矢野 泰嗣

宮崎県宮崎市
 宮崎県宮崎市
 宮崎県日南市

<小学生の部>

○最優秀賞

あいすすきおもちゃだいすきばばもすきみどりがすきなぼくのおとうさん

甲斐 佑宇杜

美郷町立美郷南学園 1年

○優秀賞

おじいちゃんまだまだ元気七十二トマトを育ててぼくも育てて
 五月晴れドッジボールしてみな帰る地面に引いた線を残して

那須 陵太郎
 満永 夏深

日向市立坪谷小学校 4年
 都城市立乙房小学校 6年

○優良賞

つばやしょういちばんにんきのあおばずくこのはにかくれてじろじろみてる
 あめのひのたのしみみつけみずたまりあるくとぴちゃっというおとになる
 虫かごの中にはアトラスオオカブトつのがデカくてせなかがぴかぴか

山床 拓真
 徳田 薫子
 中村 ゆり

日向市立坪谷小学校 1年
 宮崎市立内海小学校 1年
 日向市立大王谷小学校 3年

○佳作

いぼがえるいしのうえからとびはねていけのなかではきんぎょとあそぶ
 石段を登れば見える町並みは母と見とれるぼくの故郷
 早起きし急いで作る朝ごはん今日はわたしが作る担当
 夕飯で絶えず聞こえる笑い声家族の笑顔が心のご飯
 窓開けてすかさず猫が旅に出る逃げる鈴の音追いつく私
 クーラーをつけてくれるよすずしいな家具や食器もすずんでいるよ
 みなとでねきれいな花火があがったよぼくのとこまでおちてきそうだ
 えいかいわたのしかったよすきないろあおはえいごでブルーといえた
 まどの外白の季節から緑へとどんだんかわる次の色へと
 カエルの子しっぽがとれて水の外ぴょんぴょんはねてあじさいの上

山口 和志
 河野 真一郎
 大津 彩誉
 嶋本 小迪
 米良 明咲
 田代 智花
 黒木 利臣
 中森 壮大
 太川 結衣
 藤井 琉星

日向市立坪谷小学校 1年
 日向市立富高小学校 6年
 日向市立富高小学校 6年
 日向市立富高小学校 6年
 日向市立富高小学校 6年
 日向市立寺迫小学校 5年
 日向市立寺迫小学校 2年
 美郷町立美郷南学園 2年
 日向市立東郷小学校 6年
 宮崎市立内海小学校 3年

うちの犬目がかわいいよしっぽふるなでてあげるとおなかを見せる
 かめの子があさ日に向かってあるいてく大きい海に小さな体で
 きれいだなとうごうの川みどり色みんなおよいでたのしそうだよ
 春の風気もちがよくていい日だなぼくのところへこんにちは風
 友達に好きな人をね言っちゃったなのに友達教えてくれない
 つくりたい平和な世界何年も戦争のない平和な未来を
 なつかしい今亡き祖母におんぶされあの山見てたまだ幼い日
 ふるさとは山にしずむ夕日がきれいだな山のかげが町にうつるよ
 自然にはいろんなものがかくされて森や川に草や虫が
 ウィンナー車の上でやいてみるやきあがるまでプールでもぐろう

奈須 優菜	日向市立大王谷小学校	3 年
黒木 結布	日向市立大王谷小学校	3 年
橋本 昊己	宮崎市立大塚小学校	3 年
税所 凌雅	都城市立乙房小学校	2 年
戸島 ナミ	都城市立乙房小学校	3 年
古賀 健心	日向市立大王谷小学校	6 年
鮫島 ことは	日向市立大王谷小学校	6 年
山本 明悠	日向市立大王谷小学校	6 年
遠藤 綾乃	日向市立大王谷小学校	6 年
今井 煌人	新富町立富田小学校	3 年

<中学生の部>

○最優秀賞

あこがれのあなたを探しました来たよあわい花火が一度で終わる

白井 沙希	都城市立五十市中学校	1 年
-------	------------	-----

○優秀賞

保冷剤今年初めて弁当にそえられ夏が来ると知らせる
 母に言う早く大人になりたいと今を生きろと母に教わる

加藤 愛望	鵬翔中学校	3 年
小野 京之介	延岡市立南中学校	2 年

○優良賞

鹿を刺し猟師している父の背に命の重さ父の偉大さ
 夏祭り浴衣姿の君を見て考えてきた話題も消えた
 とびこんだしーんとなって水の中そこでのぼくはイルカのようにだ

矢野 大和	延岡市立北川中学校	2 年
野口 まや	鵬翔中学校	3 年
柿並 寛人	都城市立五十市中学校	3 年

○佳作

卒業式泣いて見送る卒業生僕も泣かれる先輩になる
 テスト中みなシャーペンカツカツと音が響いて僕はあせる
 朝早く竿先ながめ俺は待つ大きな魚大きなあたり

田爪 亮也	西米良村立西米良中学校	2 年
前崎 大河	門川町立西門川中学校	2 年
赤木 謙心	延岡市立北川中学校	2 年

北川の歴史数ある山山に「どん」とかまえた西郷^{せご}どん見える
 弟と山にのぼってわらびとり母の自慢のわらびみそ汁
 よいの月父の晩しゃくさかづきになみなみついだ月の光を
 二のうでにとまる蚊ぱちんとたたいたらそれから気付く命の存在
 進路とか気にせず進む台風にあこがれながらペンを走らす
 新学期はりきりすぎて切りすぎてあの娘に髪型^{かみ}見られたくない
 帰り道おばあちゃんにつかまって一時間の道端トーク
 縁起よい鰯を狙いに釣りに行く父といっしょに初日見ながら
 おじさんの青春話が盛り上がる飽きてきたとは言いだせぬまま
 黒板消しチョークの文字は消せるけどいやな記憶は消してくれない
 夕闇をほんのり照らす蛍火が小さな池に星を降らした
 きれいだな空見て思う帰宅中父に教わった星の数々
 5時に起き朝ご飯食べお話をするとなんだか元気になります
 どうしよう迷ったあげく声かけたおばあちゃんは満面の笑み
 僕たちが磨き続けた車いす僕の心もピカピカになる
 帰り道私と君の決めたこと老後も二人で並んで歩こう
 母親にいつも言えずにいる言葉毎日毎日幸せだよと

白坂 陽菜	延岡市立北川中学校	2年
淵上 佳奈	延岡市立北川中学校	2年
岡崎 晶幹	鵬翔中学校	1年
春山 菜々実	鵬翔中学校	2年
杉田 隼斗	鵬翔中学校	3年
河野 莉里歌	鵬翔中学校	3年
吉岡 龍輝	延岡市立南中学校	2年
喜多林 陽斗	延岡市立南中学校	2年
矢野 蓮司	日向市立美々津中学校	2年
江藤 悠翔	新富町立富田中学校	1年
松嶺 薫奈	小林市立紙屋中学校	3年
下田 夢乃	美郷町立美郷南学園	8年
木村 寿唯	美郷町立美郷南学園	9年
坂本 明斗	日向市立東郷中学校	1年
谷口 凰珂	日向市立東郷中学校	1年
服部 有杏	日向市立財光寺中学校	3年
岡田 愛菜	都城市立五十市中学校	1年

<高校生の部>

○最優秀賞

海の青青くするのは空の青私の海は君の空色

長友 花恵	宮崎商業高等学校	3年
-------	----------	----

○優秀賞

目の大きい隣の君のその心すくいたいなとねらうデメキン
 弓を引く息を忘れた立ち姿永遠の一瞬今そこにあり

宮崎 開	都城西高等学校	3年
松葉 実優	富島高等学校	1年

○優良賞

夏祭り人が多いと君が言うぶっきらぼうに出される右手
「ごめん待った？」あわてる彼女に大丈夫本当は待った朝の四時から
朝起きてテーブル見るとお弁当母は何時に起きているのか

乙守 紋佳	宮崎商業高等学校	3 年
松浦 圭志	宮崎大宮高等学校	3 年
阪元 裕香	宮崎海洋高等学校	3 年

○佳作

おじさんは「昔は良かった」そればかり将来俺も言うんだろうな
土の匂い風の匂いを嚔ぎ分けて季節の訪れ感じ始める
時止まり鼓動高まる三秒間子音と共に札の飛ぶ音
友と見る部活終わりの河川敷夏限定の夕やけの空
春の水微妙なりズムと弾む音水が作曲「水の戯れ」
好きな子に彼氏がいると知った日に起きた地震は僕の心か
すず虫が鳴く夜に思う君の事君とはずっとこの距離がいい
最近のわが家のインコはまた一つ母のくちぐせ「こら」を覚えた
また起きた私のプリン誘拐事件犯人は子供部屋に潜伏
ふと思う真っ白なページ汚れてくノートの重さ変化するのか
ゆるキャラの中身はきっとおじさんで想像すると少し笑える
伝われよ僕の気持ちはストレート君の気持ちはなぜか変化球
いつだってまっすぐな君見てたから送信せずに直接言おう
先生の「君ならできる」聞くだけで私のやる気8割増えます
蒸し暑い立夏を告げる音一つ風がゆらした風鈴の声
下校中おばちゃんと言う「おかえり」に疲れが一気にふっ飛んでいく
梅ジュース高野豆腐に猪鍋に優しかった祖母の手料理
朝七時今日はいるかな3両目シートに座る眠そうな君
大勢の人が集まり空を見る僕はひとりで君を見ている
一步一步前に動かすじいちゃんにそっと手をそえ一緒に歩く

西原 廉人	宮崎西高等学校	1 年
根井 理紗乃	宮崎西高等学校	1 年
和田 明夏	宮崎西高等学校	1 年
志野 尚美	宮崎西高等学校	1 年
西條 晴登	宮崎西高等学校	1 年
河野 了磨	宮崎西高等学校	1 年
東良 果凜	宮崎商業高等学校	1 年
児玉 美波	宮崎商業高等学校	1 年
岩本 紗歩	宮崎商業高等学校	1 年
佐藤 遥花	宮崎商業高等学校	1 年
久保田 洸希	宮崎商業高等学校	2 年
徳田 維吹	宮崎商業高等学校	2 年
鈴木 きらら	宮崎商業高等学校	2 年
矢野 美月	宮崎商業高等学校	3 年
坂上 真央	延岡学園 尚学館高等部	1 年
平岡 祐香	富島高等学校	1 年
川名 利里佳	富島高等学校	3 年
高橋 沙耶可	宮崎大宮高等学校	3 年
炭倉 湧斗	日向工業高等学校	3 年
安藤 潤	宮崎西高等学校	2 年